



中学校との共同校外授業 今年で5年目



ガムランにさわってみよう



トランペットとその仲間の歴史



楽器を通して世界を探求しよう

2月25日(火)に聖隷クリストファー中・高等学校の中学1年生を対象とした特別授業を開催しました。この特別授業は、楽器博物館を一日教室として活用し、世界各地の楽器や音楽と、それを通して歴史や地理などの文化的な背景を学ぶ「総合的な学習」として同校と博物館が共同で企画したものです。同校の先生と博物館職員が講師となり、生徒は3つのグループに分かれて、3種類の授業を交代で受けました。授業は、デモンストレーションを交えた展示解説や生徒による楽器演奏体験など、中学生が楽しく、また興味を持って学べるように工夫しました。例えば、アフリカの楽器を紹介する授業では、西アフリカで用いられる「トーキング・ドラム」を鳴らしました。実際に音を出して観察することにより、この太鼓の特徴である「音の高さを変える工夫の意図」を生徒たちは納得していたようです。金管楽器の変遷や世界各地にあるラッパの仲間を紹介する授業では、普段教壇に立たれている先生が解説や実演を行い、生徒たちは親しみをもって学んでいたようでした。インドネシア・ジャワ島の「ガムラン」

を使った演奏体験では、馴染みのない音階や合奏スタイルに戸惑いながらも、グループのメンバーが互いに教えあうなど生徒の微笑ましい活動が見られました。また、授業当日は通常開館日であったため、一般来館者の方も一緒になって授業を見学されたり、生徒が演奏するガムランを聞かれています。

授業後の自由見学では博物館の資料を熱心に観察しており、この特別授業を通して生徒の皆さんは学校の学習とは異なったものを学び取ってくれたのではないかと思います。この特別授業は平成21年度から同校との共同企画で行っており、今年で5回目になります。学校と博物館の間で何度も打ち合わせを重ねたことにより充実度が増してきたと感じています。この活動で得た経験を活かして、展示室の魅力を更に向上していきたいと思っています。

日時：平成26年2月25日(火) 10:00～15:00
会場：楽器博物館 展示室
講師：早川茜(教員)、梅田徹・松尾圭子(楽器博物館職員)
対象：聖隷クリストファー中・高等学校 中学1年
人数：48人

「おススメ、なう！」スタッフがお気に入りの楽器を紹介！



ポルトガルギター

ピコ・パイプ

ブルローラー



オカリナ

鶏婁鼓と振鼓



馬頭琴

2012年の冬から博物館スタッフが気に入りの楽器を紹介する「おススメ、なう！」の展示を始めました。当館には1300点の展示品があり、注意して見学しないと見落としてしまう楽器もたくさんあります。ひとつひとつ詳しく調べていくと様々なことがわかります。どこでどんな風に使われているのか、どんな人がどのように演奏するのか。楽器を見ただけでは演奏の仕方がわからないものも少なくありません。当館では海外でのフィールドワークや、博物館でのコンサートの映像や音の資料もたくさん収集してきました。その資料をこの展示で使っています。

これまでに13点紹介してきましたが、その中で一番小さな楽器は「ピコ・パイプ」です。8.5cmの小さな笛で「盲目のピコ」と呼ばれる人が演奏したことで一躍知られるようになった楽器です。そして見ただけではどうやって演奏するかわからないものと、「ブルローラー」があげられます。ただの薄い板なので、とても楽器には見えません。板に長い紐をつけて円を描くように振り回すと「ブーン」と音がしはじめます。雨乞いや農耕に関する儀式など使われ方は様々です。

これからどんな音がするんだろう？と興味をくすぐるような展示をしていきたいと思います。博物館にお立ち寄りの際は是非ご覧下さい。

《これまで紹介した楽器》

ポルトガルギター（ヨーロッパ）、カラケシュ（アフリカ）、カーヌーン（アジア）、プーンギ（アジア）、

ブルローラー（オセアニア）、^{けいろこ}鶏婁鼓と^{ふりつづみ}振鼓（日本）、ピコ・パイプ（ヨーロッパ）、オリファン（ヨーロッパ）、チター（ヨーロッパ）、サクソフォーン（ヨーロッパ）、ハンドベル（ヨーロッパ）、馬頭琴（アジア）、オカリナ（ヨーロッパ）

楽器に隠されたストーリーとは？「ギャラリートーク」の楽しみ

1995年の開館以来続いている展示室での鍵盤楽器の演奏と解説は、もともとは古い鍵盤楽器の音を紹介しようと始めたものです。現在では形を少し変えて「ギャラリートーク」として毎日数回10分程度の展示品の解説をしています。ギャラリートークでは、鍵盤楽器だけでなく、世界各地の伝統楽器やヨーロッパの歴史的な楽器について毎回異なるテーマでわかりやすく説明します。楽器は音を奏でるための道具ですが、楽器について調べていくと歴史や文化、人の営みなど、その背景にはさまざまな情報が隠されていることがわかります。このギャラリートークは、楽器に込められたメッセージを来館された皆さんと一緒に楽しく探求していくプログラムです。ぜひ、来館の際にご参加ください。



名古屋芸術大学との共同プロジェクト 一絃琴と二絃琴の伝承状況調査

日本の「お琴」(おこと)と言えば、普通は13本の弦が張ってあるあの「箏」(そう)を思い浮かべます。しかし、日本には古くから1弦だけのお琴や2弦のお琴があるのです。

一絃琴(いちげんきん)は須磨琴(すまごと)とも呼ばれます。平安時代に神戸の須磨で流刑の日を送る貴族在原行平(ありわらのゆきひら)が、海岸に打ち寄せられた船板を拾い、自分の冠の緒を張って演奏し、自らの寂しさを慰めた、という言い伝えがあり、神戸の須磨寺や土佐や京都、また東京に伝承しています。



二絃琴(八雲琴): 奈良県明日香村

二絃琴(にげんきん)は「八雲琴」(やくもごと)と呼ばれます。現在の八雲琴の直接の祖先は、江戸時代後期の医学者 中山琴主(なかやまことぬし)が出雲大社で靈感を受け作ったものと言われています。この八雲琴は神事に使うものであり、俗曲の演奏はできないので、明治になって江戸で藤舎廬船(とうしゃろせん)が俗曲用に作り直したのが、「東流二絃琴」(あずまりゅうにげんきん)です。

13弦のいわゆるお琴に比べますと、一絃琴も二絃琴も、地味であるために演奏者も少なく、楽器や演奏をこれからも伝えていくことが容易ではありません。しかし、神戸や高知、奈良、京都、東京などでは、大人のお稽古に加えて、小学生、中学生、高校生の生徒が熱心に稽古をしたり、学校でのクラブ活動や授業でも取り上げられていて、伝統を絶やさないように多くの人が努力をされています。

楽器博物館は2年前から名古屋芸術大学と共同で、この2つの楽器の伝承の現状を調査しています。写真撮影とビデオの収録は終わり、今年には報告書を作る予定です。



一絃琴: 高知市



一絃琴(須磨琴): 神戸市須磨寺

「あんな楽器・こんな音色」NHKラジオ番組 17年

NHKラジオ第1放送で、月1回木曜日の朝7時45分くらいから約7分間、当館の嶋館長がアナウンサーさんとお話をしながら、世界の色々な楽器と音楽を紹介しています。たった数分の短い番組なのですが、実は1998年からスタートした17年も続く隠れた長寿番組です。スタートして数年間は東京発の全国放送で「ネットワーク日本」という午後の番組の中の1コーナーとして、毎週午後3時くらいから放送されていました。その後幾度かの番組編成の変更があり、現在は名古屋放送局管内のみでの

月1回の放送になりました。ラジオですから、楽器の形の説明をするのも一苦労ですが、アナウンサーさんと館長の絶妙会話はなかなか魅力的で、三重、愛知、岐阜、静岡、神奈川、石川、富山でも聴くことができます。多くのファンがいて、はるばる石川や富山などから、楽器博物館見学と館長に会いに来られる人もいらっしゃるほどです。今年の上半期の放送予定は、3/20、4/29、5/20、6/24、7/15、9/16の予定です。みなさん一度聴いてみてください。

展覧会



『切手に見る楽器たち～江戸町コレクション展』
5/3(土)～6/1(日)



バグパイプ博覧会パート2
『風に歌う、風に響く～バグパイプの世界～』
8/2(土)～8/31(日)



バグパイプ博覧会



切手に見る楽器たち



風に歌う、風に響く

レクチャーコンサート

5/24(日)各音楽工房ホール、物は天空ホール 2,000円

『聖琴伝説～ルネサンスハープの世界～』
4/11(金) 19:00 西山まり美

『伝統から現代へ～フラメンコギター～』
5/14(日) 19:00
鈴木麻由(ギター) 金田達(ギター) 森田リリー(ヴォーカル)

『京・響・響～柳川三味線～』
5/24(土) 14:00 林美穂子 林美京子

『大塚敦謙～韓国古典音楽の神～』
6/6(土) 19:00
大塚敦謙(チェンゴ) 田中幸子(チェンゴ) 田中幸子(チェンゴ)

『ブルーグラス・ブライド～アメリカ音楽のルーツ～』
6/18(日) 19:00
イーストサイド・ホーン 浜松大学ブルーグラスバンド

『21世紀の新天地～ピッコロヴァイオリン～』
6/25(日) 19:00
宮崎由希子(ヴァイオリン) ニューオーケストラ・プロジェクト

『クリシュナの笛～バンスリ～』
7/5(土) 18:00
中山真由美(バンスリ) 中塚美香(タブラ)

『冬の旅～フォルテピアノで響くシューベルトの時代～』
3/11(日)
中西千穂(フォルテピアノ) 吉野舞(ヴァイオリン)

『時代を彩るオーボエたち～16世紀から21世紀へ～』
3/25(日) 19:00
三宮正彦(オーボエ) 家島舞子(チェンバロ)



ブルーグラス



バンスリ



フラメンコギター



三味線



バンスリ



ピッコロヴァイオリン



チェンバロ



オーボエ



チェンバロ

ミュージアムサロン

ゴールデンウィーク・ミニコンサート

5/3(土) 13:00 15:00 5/4(日) 13:00 15:00 5/5(月) 13:00 15:00
中院 テンソクティエン アルバ 長島出之 ほか ムビラとコラ 三木まきよ

イヴニングサロンコンサート

8月～8月26日 各日1,500円、他は1,000円

『バグパイプの世界』
パート1 8/8(金) 19:00～20:45
パート2 8/9(土) 18:00～20:45

『ガムラン・アングルン
～バリのもうひとつのガムラン～』
11/29(土) 18:00

毎週第4伊豆文化芸術大学VTR音楽グループ「スプラ・キングダム」

『クリスマス・ジャズ』
12/10(水) 19:00
藤倉謙一(ピアノ) 鈴木麻美(ベース)
星島隆(ドラムス) 鈴木麻美(ヴォーカル)

『ビルマの聖琴～サウン・ガウ～』
1月 スズキ ほか

『国際古楽コンクール(山梨)2014入賞者演奏会』
日時未定



バグパイプ



ガムラン



ビルマの聖琴

講座・ワークショップ

チェンゴ入門ワークショップ
7/26(土) 18:30 1,000円 講師:リチャンソフ

ひちりき入門ワークショップ
7/27(日) 13:30 1,000円 講師:中村仁美

ジャワガムラン入門ワークショップ(3時間コース)
8/29(金) 18:30 1,500円 講師:ハヤシユース

ジャワ舞譜入門ワークショップ(2.5時間コース)
8/30(土) 9:30～12:00 1,500円 講師:西岡美穂

ワヤン人形を作る(小学生3時間コース)
8/30(土) 13:30～16:30 1,000円 講師:ハヤシユース

ホーミー入門ワークショップ
9/21(日) 10:00 1,000円 講師:堀井和史

講座『楽器の中の聖と俗』19:00 8日1,000円 講師:西岡美穂

10/6(日) 太鼓が響くスリランカ① 夜祭ペラペラの太行羽

11/10(日) 太鼓が響くスリランカ② 祈願結末の仮面舞踏

11/10(日) ラッパの古今① 東洋編

11/17(日) ラッパの古今② 西洋編

20周年記念コンサート&レクチャー『フォルテピアノとその時代』

第1回『プロローグ:シューベルトの夢』

3/4(水) 19:00 1,000円 講師:西岡美穂



チェンゴ



ひちりき



ジャワガムラン



ジャワ舞譜



ワヤン人形



ホーミー

■コンサートのチケットは原則として公演2ヶ月前より発売します。

■2014年度休演日

4/9・4/23・5/14・5/28・6/11・6/25・7/9・7/23・9/8・
9/10・9/24・10/8・10/22・11/12・11/26・12/10・12/24・
12/29～1/3・1/14・1/28・2/12・2/25・3/11・3/25

■ギャラリートーク

毎日無料、展示品をひとつ選んで10分程度の解説をします。また日曜日には原則として午前と午後13:30分間ほどの
展示室ガイドツアーを開催します。他の展示物がある時には変更されますので、詳しくは博物館にお問い合わせください。

■ミュージアムサロン(ミニコンサート&レクチャー)

日曜日は不定期に天空ホールにて聴衆やゲストによるミニコンサートとレクチャーを開催します。

浜松市楽器博物館だより

平成26年3月20日発行 No.87 編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1 TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp URL http://www.gakkihaku.jp/